

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期金武町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

沖縄県国頭郡金武町

3 地域再生計画の区域

沖縄県国頭郡金武町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、RESAS(地域経済分析システム)による将来人口推計で、令和7(2025)年の11,442人をピークに、令和42(2060)年には総人口が10,789人となる見込みである。【人口】

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口(0～14歳)は昭和55(1980)年の2,851人をピークに減少し、令和2(2020)年には1,874人となる一方、老年人口(65歳以上)は昭和55(1980)年の826人から令和2(2020)年には3,006人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口(15～64歳)も平成22(2010)年の6,632人をピークに減少傾向にあり、令和2(2020)年には5,921人となっている。【年齢3区分別の人口】

自然動態をみると、出生数は平成30(2018)年の157人をピークに減少し、令和4(2022)年には86人となっている。その一方で、死亡数は令和4(2022)年には159人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲73人(自然減)となっている。【総人口の社会動態】

社会動態をみると、平成22(2010)年には転入者(594人)が転出者(481人)を上回る社会増(113人)であった。しかし、若年層による転出増加、就職に伴う転出増加等の影響で、町外への転出者が増加し、令和元(2019)年には▲85人の社会減となっている。このように、人口の減少は出生数の減少(自然減)や、転出者の増加(社会減)等が原因と考えられる。【総人口の自然動態】

今後、人口減少や少子高齢化が進行した場合、地域産業の担い手不足、地域経済の縮小、地域コミュニティの弱体化など、町民生活全般に深刻な影響を及ぼすことが懸念される。このため、人口減少の要因となっている自然減および社会減の双方に対して、総合的かつ戦略的に対応していく必要がある。【地域の課題】

これらの課題に対応するため、本町では、安心して出産・子育てができる環境の充実を通じて自然増の拡大を図るとともに、若年層を中心としたUターンの促進や町外からの移住の受け入れを進め、社会減に歯止めをかける。また、安定した雇用の創出や、町の特性を活かした魅力あるまちづくりを進めることで、定住人口及び交流人口の拡大を図る。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。【『地域の課題』で分析した課題を解決するための取組】

- ・基本目標 1 町民の出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 2 人の流れと受け入れる基盤をつくる
- ・基本目標 3 金武町民が安心して働ける環境をつくる
- ・基本目標 4 町の特性を活かした魅力ある金武町をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	保育士不足による定員割 れの人数	9人	0人	基本目標 1
	青少年健全育成に関する 講座(家庭教育講座など) の参加人数	1,625人	1,625人	
	地域と連携した非行防止 活動体制(パトロール活 動従事者数)	87人	100人	
	年齢別クラス担任研修会 (回/年)	1回	1回	
	保幼小連携検討会(回/ 年)	3回	3回	
	児童生徒1人1台端末更 新(累計)	930台	1,356台	

	電子黒板更新（台/年）	10台	10台	
	育英資金貸与生人数（新規/年）	15人	15人	
	海外移住者子弟等研修生受入事業	94人	109人	
	青年海外派遣研修生派遣人数	26人	36人	
	金武町ハワイ短期留学派遣人数（人/年）	10人	10人	
イ	町内観光客入域	545,000人	599,500人	基本目標 2
	キャンプ見学者数の増加	33,000人	36,300人	
	DX推進に向けた研修会	0回/年	1回/年	
	町営住宅の施設更新実施数（累計）	0団地	3団地	
	橋梁の保全（健全化）（累計）	19橋	22橋	
	河口閉塞の浚渫工事	3件/年	3件/年	
	既設公園の改修等整備	19箇所	19箇所	
	有収率の向上	86.88%	90%	
	農業集落排水事業への接続率	73.12%	80%	
ウ	農業用かんがい施設設備の更新（累計）	1箇所	3箇所	基本目標 3
	農道橋長寿命化計画に基づく調査・整備橋数（累計） ※町内農道橋（全13橋）	4橋	8橋	
	スマート化推進に向けた勉強会	0回/年	1回/年	
	堆肥年間生産販売量	2,300t	2,900t	
	認定農業者数（累計）	21人	21人	
	認定新規就農者数（累計）	7人	12人	
	遊休農地面積	14.6ha	10ha	
	藻類取扱量	86t/年	100t/年	
	鮮魚・魚貝取扱量	29t/年	37t/年	
商品券の販売額	240,000,000円	240,000,000円		

	企業誘致数（累計）	2企業	3企業	
	町内観光客入域	545,000人	599,500人	
	DX推進に向けた研修会	0回/年	1回/年	
	キャンプ見学者数の増加	33,000人	36,300人	
	就活支援センター利用者が雇用者（非正規含む）となった人数（累計）	255人	306人	
	就活支援センターの紹介状発行件数	25件/年	30件/年	
	ギンバル訓練場跡地の進出企業雇用者数（累計）	190人	228人	
エ	防災訓練の参加人数	約2,000人	約2,000人	基本目標4
	防災訓練の訓練内容数	2種類	4種類	
	戸別受信機の普及率	65%	70%	
	LED型街灯の新設・改修（新設・改修が必要な箇所のうち対応済みの割合）	92%	95%	
	オンライン申請手続き種類数	27種類	35種類	
	町税の徴収率	96.16%	96.3%	
	区との行政懇談会開催数	5回	5回	
	ふるさと応援寄附金額	176,556千円	251,556千円	
	講座・企画展・見学会等への参加人数	90人	100人	
	海外移住者子弟等研修生受入事業（累計）	94人	109人	
	青年海外派遣研修生派遣人数（累計）	26人	36人	
	金武町ハワイ短期留学派遣人数（人/年）	10人	10人	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期金武町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 町民の出産・子育ての希望をかなえる事業
- イ 人の流れと受け入れる基盤をつくる事業
- ウ 金武町民が安心して働ける環境をつくる事業
- エ 町の特性を活かした魅力ある金武町をつくる事業

② 事業の内容

- ア 町民の出産・子育ての希望をかなえる事業

子育てに関する環境の改善を図り、町民が安心して出産・子育てできる環境の創出に努める事業

【具体的な事業】

・保育人材確保のため、保育士宿舎借り上げ支援事業や保育補助者雇上強化事業の実施により保育士が働きやすい環境を整備し、就業継続及び離職防止を図り、安定的な児童受入体制の構築を図る事業

・家庭教育における保護者の意識啓発及び支援を図り、青少年非行防止に繋げるため、青少年問題に関するテーマについて有識者を招聘する「家庭教育講座」の継続的な実施とその充実化を図る事業 等

- イ 人の流れと受け入れる基盤をつくる事業

将来にわたって人口を維持し、活気にあふれたまちづくりを推進するため、町民のUターンを促し、町外からの移住促進に向けた布石を打ち、定着に向けた環境整備や交流人口の増加に努める事業

【具体的な事業】

・新開地地区や億首川沿いのマングローブ林を活用した観光・体験メニューを推進し、観光客の増加及び満足度の向上に向け、関係機関等との連携を図る事業

・スポーツキャンプや合宿など、スポーツコンベンションの発展に向け、金武町スポーツコンベンション受入協力会を中心に町全体で歓迎機運の醸成に取り組む事業 等

ウ 金武町民が安心して働ける環境をつくる事業

町民や移住者の定住を促すため、働く環境の創出が重要。働く人・働きたい人の支援や町内産業の魅力向上を図り、町民が安心して働ける環境の創出に努める事業

【具体的な事業】

- ・各地区の農道やかんがい施設の整備は、おおむね完了している。今後は、初期に整備した施設が老朽化しているため、施設を更新し、施設の長寿命化を図り、生産性向上を維持する。あわせて農道、農道橋、排水路等の農業用施設の維持管理を充実させ、施設の延命化を図る事業
- ・栽培技術の向上や農作業の効率化を図るため、AI や ICT を活用したスマート農業の推進に努める事業 等

エ 町の特性を活かした魅力ある金武町をつくる事業

金武町の特性を活かした魅力増進や安心して暮らせるまちづくりを図り、町民が誇りに思う選ばれるまちづくりに努める事業

【具体的な事業】

- ・防災訓練については、現在の参加者数（約 2,000 人）を維持しつつ、感染症・津波・停電など多様な想定に対応できる訓練を実施する事業
- ・各世帯における防災情報戸別受信システムの加入設置及び老朽化した防災無線機器・屋外スピーカー等の更新を進める事業 等

※なお、詳細は第3期金武町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

275,000 千円（2026 年度～2030 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度3月頃に金武町まち・ひと・しごと創生外部有識者委員会による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで